

人を
知り、
人を
創る

学部案内 2027

島根大学 法文学部

SHIMANE UNIVERSITY
FACULTY OF LAW AND LITERATURE

この冊子は大学案内で紹介できなかった法文学部の特色、法経学科・社会文化学科・言語文化学科の教育の特色、取得可能な資格について説明したものです。また、皆さんが大学での勉強や将来をイメージする時の手助けとなる資料も掲載しています。

法文学部の特徴

島根大学法文学部は、法経・社会文化・言語文化の3学科からなり、人文・社会科学の諸分野を網羅する山陰地方唯一の文科系総合学部です。本学部に所属する教員スタッフは、日本と世界の多様な地域と時代にまたがって、人間の営みとしての思想・文化・社会のあり方や課題を、それぞれの専門の立場から日々研究しています。また、研究・教育の両面にわたって国際的な交流にも積極的に取り組んでいます。

本学部が所在する山陰地方は、古代出雲に連なる豊かな歴史と伝統を受け継ぐ地域ですが、その一方では、広大な中山間地域を抱え、過疎化と少子高齢化に伴うさまざまな問題にも直面しています。本学部は、そのような地域社会の文化や課題に学問的に向き合う研究センターとしての役割も担っています。

本学部では、多様な専門を持つ教員が、それぞれの研究活動を基盤にして、個別指導によるきめ細やかな教育活動を展開しています。その目指すところは、一人一人の学生が、創造的で実践的な能力を備えて、現代社会のさまざまな場面で活躍できる人間として成長していくことに向けられています。そのために、各専門分野の系統的な学習を深めていくとともに、幅広い教養を身につけることのできる多彩なカリキュラムが用意されています。

■ここにしかない学び「地域の自然・文化環境と文化資源の活用を学ぶ」

自然・文化環境に対する学問的で多角的なまなざしと、地域の文化資源を活用する上での課題と方法を学びます。

科目区分		授業科目名	単位数
専門教育科目	演習科目	文化財保存活用演習	2
		地域資料総合演習	2
		日本古典籍基礎演習	2
		アメリカ文学応用演習Ⅰ	2
	講義科目	考古学概論Ⅰ	2
		現代史概説	2
		歴史地理学	2
		文化人類学入門	2
		アーカイブズ学概論	2
		社会調査Ⅰ	2
		地域経済各論	2
		経済統計処理論	2

私たちが暮らす地域には、豊かな自然環境と歴史に育まれた文化資源が存在しています。本プログラムでは、それらを活用する上での課題と方法を様々な学問分野の視点から多角的に学びます。具体的には、考古学、歴史学、日本文学、アメリカ文学、地理学、文化人類学、アーカイブズ学、社会学、経済学を専門とする担当教員から、学問的なまなざしや思考法を学び、そして文化資源の活用について取り扱う演習を通じて、地域課題に即した主体的で実践的な態度を身につけます。地域創生が叫ばれ、日本文化が国際的にも注目されるなか、豊かな自然環境と歴史資源の宝庫である島根県に位置し、法文学部という複合学部だからこそ学べるプログラムです。



[卒業後の進路を考えるキャリアゲート制]

法文学部では2017年4月以降の入学を対象に、4年間にわたり学生のキャリア形成を支援する学部独自のシステムである「キャリアゲート制」をスタートさせました。

■1・2年「プレゲート期間」

自身の進路や人生について考える時期です。2年前期に必修科目である「キャリアプランニング」を受講して“キャリアプラン・ライフプラン”を作成します。また、「プレゲート講座」を2つ以上受講して将来に向けた基礎知識を身につけます。

■3・4年「ゲート期間」

3年生からは「企業」・「公務員」・「教員」・「司法」・「専門職」のいずれかのゲートに所属します。各ゲートにはそれぞれの特性に合わせた「ゲート講座」が用意されており、これを5講座以上受講して自身が希望する進路につくための知識と力を身につけていきます。

国内外の留学制度

■琉球大学への国内留学

私たち島根大学法文学部は、教育の一層の充実を図るため、琉球大学国際地域創造学部・人文社会学部との間で国内留学制度を設けています。本学部の学生は琉球大学に半年または一年間「留学」して学ぶことができます。

三つの学部は専門分野の内容がよく似ているので、琉球大学でも同じ専門分野の授業を受けることができます。向こうで修得した単位（合格した授業）は本学部の修得単位になるので、留学後に島根大学で学び直す必要はありません。また、留学先でも指導教員がつくので、授業の取り方などを相談することができます。

同じような授業名でも、担当する教員が違えば、学ぶ内容や考えることが大きく違ってきます。この「違い」を経験することで、知識が広がり深まると期待しています。専門の知識を深めるだけでなく、琉球文化にもふれてもらいたいと思っています。新しい体験、新しい友人は今後の人生で大きな財産となることでしょう。

- ・琉球大学では「特別聴講生」となり、学内施設が利用できます。
- ・琉球大学の学生寮を紹介します。
- ・琉球大学での授業料はかかりません。

■海外への留学制度

島根大学では、海外の協定校のうち、「学生交流に関する協定書覚書」を締結している協定校から交換留学生を受け入れるのと同時に、島根大学の学生を交換留学生として派遣することで学生の相互交流を推進しています。

また、交換留学制度以外にも授業の一環として、春や夏の長期休暇の時期に米国、カナダ、韓国、中国などでの海外研修を実施しています。この研修は、ホームステイ、文化講座の受講、現地学生との交流会等盛りだくさんの内容になっています。この研修に参加して、自身の成長を体感した学生が、改めて交換留学に申込みケースもあります。

- ・協定校への留学・研修では授業料はかかりません。
- ・大学独自の支援制度により、奨学金を受けることができます。
- ・主な留学先：アメリカ(ケント州立大学、フロリダ大学)、フランス(オルレアン大学)、ドイツ(トリア大学)、韓国(韓国外国語大学校)など

法経学科

新しい時代、新しい法学・経済学

Department of Law and Economics

取得可能な資格

- ・高等学校教諭一種免許状(公民)
- ・中学校教諭一種免許状(社会)
- ・学芸員

法経学科
ホームページ



法経学科の教育の特色

- 1 法と経** 本学科では、すべての学生が、法学と経済学の双方を学びます。複雑な社会を総合的に理解するには、どちらも欠かせないからです。
- 2 主体的な学習** 学生は、各自の関心や志望進路に沿った形で自ら学習プランをたて、主体的に学んでいきます。
- 3 積み上げ方式(コース制)** 1・2年次は法学と経済学の基礎(法学・経済学の基本的な知識や考え方を学ぶ科目群)を学び、3年次以降は「法学コース」「経済学コース」「司法特別コース」に分かれ、応用(様々な社会問題にアプローチする科目群)を学びます。
- 4 少人数教育** 教員1人あたりの学生数(1学年の学生数は約80名、教員は約15名)が少なく、きめ細やかな指導を行っています。在学生・卒業生からも、学生と教員との距離が近い、と好評を得ているところです。
- 5 全年次での演習** 大学の授業には、主として教員が学生に教授する「講義」の他に、調査や討論等を通じて主に学生同士で学び合う「演習」があります。この「演習」を毎年必修としていることも本学科の大きな特徴です。

■ 時間割

■ : 専門教育科目 ■ : 全学基礎教育科目 ■ : 教職科目

ここでは、ある2年生の前期の時間割を紹介します。

	月	火	水	木	金
1・2限 8:30~10:10		行政学	考古学からみた 韓半島の先史・古代文化		行政法Ⅰ
3・4限 10:25~12:05	基礎演習	刑事法Ⅱ		英語ⅡB	観光概論
5・6限 13:00~14:40	経営学	財政学Ⅰ		反応の化学	
7・8限 14:55~16:35	中等社会科教育法概説		法学と経済学の科目を バランスよく学びます。	金融論Ⅰ	
9・10限 16:50~18:30	民法Ⅲ				

演習は
授業の準備が
大切です。

■ 授業科目

2026年度入学生向けに開講されている授業科目を抜粋したものです。

学科共通科目	法学入門	入門演習
	政治・行政学入門	基礎演習
	経済学入門	専門演習

法学分野

経済学分野

基礎的科目	法哲学	経済学概論
	憲法	ミクロ経済学
	民法	マクロ経済学
	刑事法	財政学
	行政法	金融論
	政治学	経済政策論
	行政学	国際経済論
	応用的科目	法制史
企業法		産業・イノベーション論
民事手続法		地域経済論
刑事手続法		環境経済論
労働法		経済統計処理論
社会保障法		福祉経済論
国際法		福祉経済各論
税財政法		地方財政論
地方自治法		国際経済各論
国際政治		経営学
公共経営論		簿記論
NPO論		財務諸表論
消費者法	証券論	

「演習」は教員と学生が少人数単位で実施するもので、ゼミナールとも呼ばれます。発表や討論を中心として、時には大学の外で実習・調査を行います。



学生による授業紹介

法経学科の先輩が、実際に受講している授業を紹介します。

「民法Ⅵ」を紹介します！



民法は、日常生活について定めている法律です。授業は民法Ⅰ～Ⅵまであり、1年生から履修することができます。授業では、民法を体系的に学ぶための基本的な知識だけでなく、裁判例の読み方や条文を解釈する力を修得することができます。民法を通じて、法的思考力が養われます。

三宅 遥菜(司法特別コース3年)

「専門演習Ⅰ&Ⅱ(地域経済論)」を紹介します！



地域経済学の基礎理論や地域経済分析手法を学び、多様な地域再生の在り方について研究します。毎年、山陰各地の先進例を題材として、フィールドワーク(野外調査)をしています。テキストや学術論文などの文献資料だけでなく、調査を通して地域の「生きた現実」を知り、地域課題を総合的に学ぶことができます。

田口 權(経済学コース4年)

「行政学演習」を紹介します！



地域や社会の課題を「自分ごと」として考える力を身につけるため、「座学」にプラスして様々な「実践」を行っています。投票日に投票所で子どもを対象に行う模擬投票、くじで参加者を選ぶ市民会議、行政学ゼミなのに畑もしています。人との出会いやさまざまな経験が得られることも魅力です。

岩井 このみ(法学コース3年)

「国際経済論Ⅰ」を紹介します！



グローバル化する21世紀の世界、アジアの経済構造変化を学びます。みなさんが普段何気なく使っている製品の多くは世界経済上の製造過程、流通経路を通じて私たちのもとに届きます。貿易や産業における格差や課題は遠い国のことではなく、私たちの生活に直結しているのです。

森田 悠芽(経済学コース4年)

■ 卒業研究・卒業論文

法学分野

- ◆ 仮想身分捜査実施につき考えられる問題点
- ◆ 捜査機関による写真撮影の法的性質について
- ◆ 日本企業の社外取締役の現状と課題
- ◆ 求償権の制限から見る逆求償—最高裁R2年判決を検討素材として—
- ◆ 詐害行為取消権の遅延損害金の起算点が受益者・転得者に与える影響—最高裁H30年判決を検討素材として—
- ◆ 処分性拡大の限界と確認訴訟の活用の可能性
- ◆ 社会教育委員制度の制度的変容と運用実態について
- ◆ 子どもに対する暴行罪について
- ◆ 過失犯における因果経過の予見可能性
- ◆ 錯誤に基づく同意の有効性判断—法益関係の錯誤説の理論的考察と展開—
- ◆ 情報化社会における生活保護制度の在り方
- ◆ 日本国内での外国人参政権導入の可能性
- ◆ 日本の安全保障政策の転換と憲法的限界
- ◆ SNSにおける表現の自由の限界について
- ◆ フリーマーケットの地域定着条件の解明—全国事例と松江市の比較を通じて—
- ◆ 島根大学松江キャンパス学生の県内就職率が向上しないのはなぜか—島根大学の就職支援と就職状況を分析して—
- ◆ 都道府県意見書からみる選択的夫婦別姓制度への賛否の変遷とそれに伴う要因調査—地方議会における議論過程の分析—

経済学分野

- ◆ 日本における週休3日制の導入可能性—持続可能な働き方と地域経済の視点から—
- ◆ 関係人口は地域を救うか—短期滞在型の関係人口創出プログラムに着目して—
- ◆ 島根県の中小企業CSR戦略—企業の力で地域を守るために—
- ◆ 地域に根ざすグローバル企業の財務的特徴と持続可能性の分析
- ◆ 国際金融制裁とロシア経済の構造変化—金融防衛策がもたらした対外依存の転換—
- ◆ 企業や地域経済の発展の為に地域金融機関は何をすべきか
- ◆ 日本と欧州諸国におけるフェアトレード市場の格差とその要因—市場規模・認知度・認証製品の観点から—
- ◆ Jリーグクラブにおける経営戦略の変遷と地域共生型の意義
- ◆ OECD/INF 国際的枠組みによる金融教育推進体制の評価と比較—カナダの整合事例と日本への示唆—
- ◆ 男性の育児参加を促進するには
- ◆ サブスクリプションで成功するには—デジタルコンテンツだけなのかを問う—
- ◆ 学部横断型の地域人材の育成の意義と課題—島根大学地域人材育成コースの事例から—
- ◆ ひらかれたミュージアム—東京国立博物館「TOHAKU OPEN PARK PROJECT」の検討を通じて—
- ◆ 地方都市における下水道の老朽化と事故発生リスクへの政策対応—米子市を事例に—
- ◆ なぜポルトランドと日本のコンパクトシティは異なるのか—市民参加と郊外対応の比較分析—
- ◆ 地域創生におけるスタジアム・アリーナ活用の可能性
- ◆ 地方百貨店の衰退と閉店後の利活用法に関する研究—松江市旧一畑百貨店の事例を中心に—

■ 進路・進学先

主な就職先(2025年度卒業生)

朝日新聞社、広島銀行、中国銀行、鳥取銀行、トマト銀行、東京海上日動火災保険、日新火災海上保険、岡三証券、関西大学、リョービ、三菱食品、山崎製パン
厚生労働省、岡山地方裁判所、京都労働局、広島国税局、広島法務局、岡山県、鳥取県、福井県、境港市、津山市、雲仙市、津市

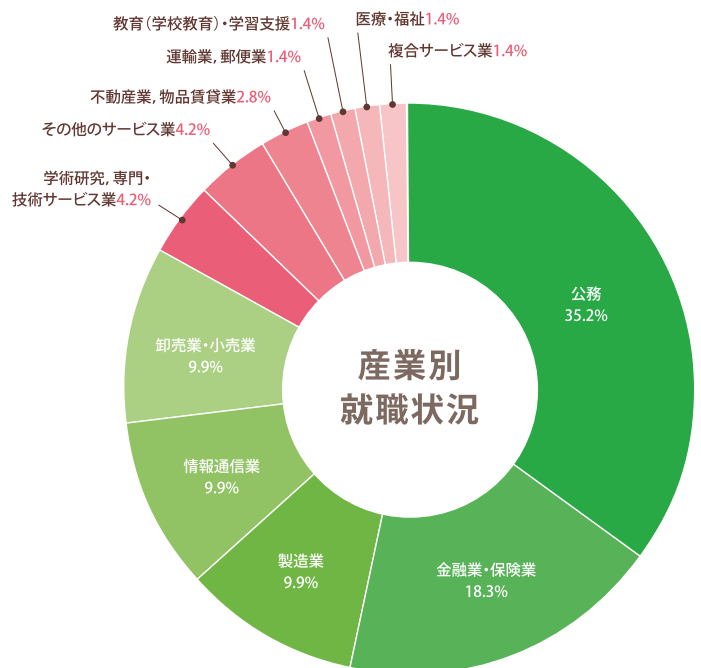
【地元企業等】

山陰中央新報社、山陰合同銀行、出雲村田製作所、守谷刃物研究所
島根県警察、島根県農業協同組合、松江商工会議所、松江地方検察庁、島根県、出雲市、松江市

主な進学先(2025年度卒業生)

神戸大学大学院法学研究科実務法律専攻(ロースクール)、琉球大学法科大学院(ロースクール)、関西学院大学大学院司法研究科(ロースクール)

進路データ(2026年3月卒業生)



社会文化学科

人と社会の調和と発展

Department of Socio-Cultural Studies

取得可能な資格

- ・高等学校教諭一種免許状(地理歴史・公民)
- ・中学校教諭一種免許状(社会)
- ・学芸員

社会文化学科
ホームページ



社会文化学科の教育の特色

社会文化学科は、①現代社会コース、②歴史と考古コースからなり、人間と社会に関する問題について総合的に探究・判断できる能力を養うことを目指しています。本学科では、入学後の学生の志望に基づいて1年の後期よりいずれかのコースに所属します。

1 現代社会コース

社会学、地理学、文化人類学へと分かれ専門性を高めます。

2 歴史と考古コース

日本史、東洋史、西洋史、現代史、考古学へと分かれ専門性を高めます。

学習において基礎となるのは、多様な事象を、理論的・実証的に分析する力です。

本学科では、その力を身に付けるため、ゼミや演習形式による少人数教育に重きをおき、講読、実習等による体験型の授業を多数展開しています。カリキュラム構成は、基礎から応用へと体系的に科目を履修できるような仕組みになっており、学生の多様な進路を想定して、きめ細かな学習指導を行っています。

■ 時間割

■ : 専門教育科目 ■ : 全学基礎教育科目 ■ : 学芸員資格科目

地理学研究室に在籍する、ある2年生の前期の時間割を紹介します。

	月	火	水	木	金
1・2限 8:30~10:10			西洋史概説A		
3・4限 10:25~12:05		地域開発と環境	古代出雲の考古学	英語ⅡB	
5・6限 13:00~14:40		フランスの社会と文化	博物館資料論	社会学史	地理情報システム
7・8限 14:55~16:35		山陰の歴史		地理学調査法	英語Ⅲ
9・10限 16:50~18:30	地理学専攻の2・3回生で集まるゼミ形式の授業で、夏にはフィールドワークに行きます	地理学実習Ⅰ	地理学だけでなく社会学や歴史学など幅広く学ぶことができます		

■ 授業科目

2026年度入学生向けに開講されている授業科目を抜粋したものです。

学科共通科目	特別研究	社会学概論	歴史学概論
	社会文化入門セミナー	地理学入門	考古学概論
	地域資料総合演習	文化人類学入門	アーカイブズ学概論

現代社会コース

歴史と考古コース

コース指定科目	社会学史	歴史と考古入門セミナー
	社会学講読	日本史概説
	社会調査	東洋史概説
	社会学方法論	西洋史概説
	社会学応用	現代史概説
	社会学実習	日本史特論
	自然地理学概論	東洋史特論
	自然地理学特論	西洋史特論
	経済地理学	現代史特論
	歴史地理学	歴史学史料演習
	地誌学	歴史学専修演習
	地理情報システム	日本史演習
	地図学	東洋史演習
	地理学実習	西洋史演習
	文化人類学概論	現代史演習
	文化人類学基礎講読	考古学特論
	文化人類学講読	考古学実習
	文化人類学調査法	考古学技術実習
	文化人類学実習	考古学演習
	民族誌	古文書学実習
	文化財保存活用演習	



学生による授業紹介

社会文化学科の先輩が、実際に受講している授業を紹介します。

「考古学技術実習I」を紹介します！



考古学技術実習Iでは、石見銀山遺跡の発掘調査に参加しました。初めての発掘経験でしたが、現地の調査員や先生方に教えてもらいつつ実際に自分の手で明治時代の銅の製錬炉の痕跡を調査でき、本物の考古資料に触れることのできた貴重な5日間でした。

吉村 陽菜(歴史と考古コース3年)

「社会学実習」を紹介します！



社会は、人々が関わりを持つことによって成り立っており、そのような社会と人々との関係性を調べるのが「社会学」という学問です。この授業では、実際に中山間地域に出向き、そこに住む住民の方々の「人生」について聞き取り調査を行い、その結果を聞き書き文集の形にまとめます。それぞれの方のライフヒストリーを通じて地域社会の特徴を見出します。

鬼村 蒼大(現代社会コース3年)

「文化財保存活用演習」を紹介します！



授業の前半は文化財の保存と活用の実態を把握する講義型、後半は興味のある分野を選択し、チームに分かれてフィールドワークや発表を行う参加型の授業となっています。私の班では島根県の戦争遺跡について調査し、実際に三瓶山を2度訪れて調査を行いました。この授業を通して、専門的な学びに生きる知識を身につけることができます！

上野 桜(歴史と考古コース3年)

「文化人類学実習」を紹介します！



文化人類学実習では、自分たちの関心に合わせて調査地とテーマを決めてインタビューを行い、最終的には調査報告論文を執筆します。私は沖縄の斎場御嶽(せーふあうたき)を調査し、関係者のみなさんに貴重なお話を伺うことができました。この授業を進めるなかで仲間との共同作業も多く、研究室の一体感を高めることもできました。

平松 訓明(現代社会コース4年)

■ 卒業研究・卒業論文

現代社会コース

- ◆現代における「推し活」の実態と考察
- ◆若者が感じる生きづらさについて
- ◆家族主義に囚われる子どもたち
- ◆物乞いに対する日本人の印象とその背景
- ◆現代社会における対人関係と「積極的なひとり」の選択
- ◆応援する保護者達
— 島根県松江南高等学校男子バレーボール部から見る
応援する側とされる側の関係性—
- ◆AIチャットボットと人間の関係性に関する人類学的考察
- ◆山形ワインバルのワイナリー開催目的の変容について
- ◆本場結城紬の産地における真正性との関り
- ◆隠岐四島のジオパーク活動に対する住民意識とその地域差の背景
- ◆重要伝統的建造物群保存地区における建物利用の特徴と変容
- ◆プロスポーツと地域社会の関係性

歴史と考古コース

- ◆平安期における死刑停止と恩赦—恩赦概念の再検討—
- ◆日本古代における摂政の成立過程
- ◆津山松平藩における孤獨人救済制度の実態と変遷
- ◆古代メソポタミアにおける王の神格化
- ◆墓をめぐる争いにおける風水思想と親族秩序—清代刑案史料の分析
- ◆ナチ体制下における民族ドイツ人の東部移住政策
—「Heim ins Reich」と移住の強制性に着目して—
- ◆15・16世紀ドイツの市参事会と醸造業
—ハンブルクにおける醸造業者と兄弟団—
- ◆日露戦後の沖縄における国民統合と仏教—浄土真宗の救済事業を事例に—
- ◆戦後日本社会におけるたばこ小売業の変容過程
—岡山県のたばこ小売業を事例に—
- ◆西日本の旧石器時代後期から縄文時代前期における石偶・初期土偶について
- ◆弥生時代後期から終末期における安来平野の集落の様相
- ◆古墳時代の群馬・長野地域におけるウマ利用について

■ 進路・進学先

主な就職先(2025年度卒業生)

日本放送協会、徳島新聞社、日本銀行、京都銀行、大分銀行、備後信用組合、
愛媛県商工会連合会、JTB商事、阪急阪神エクスプレス、NTTドコモ、
システムズナカシマ、都ホテルズ、地域科学研究所
関東農政局、岡山県、鳥取県、鳥取市、米子市、盛岡市、勝央町、
高知県立学校、山口県立学校

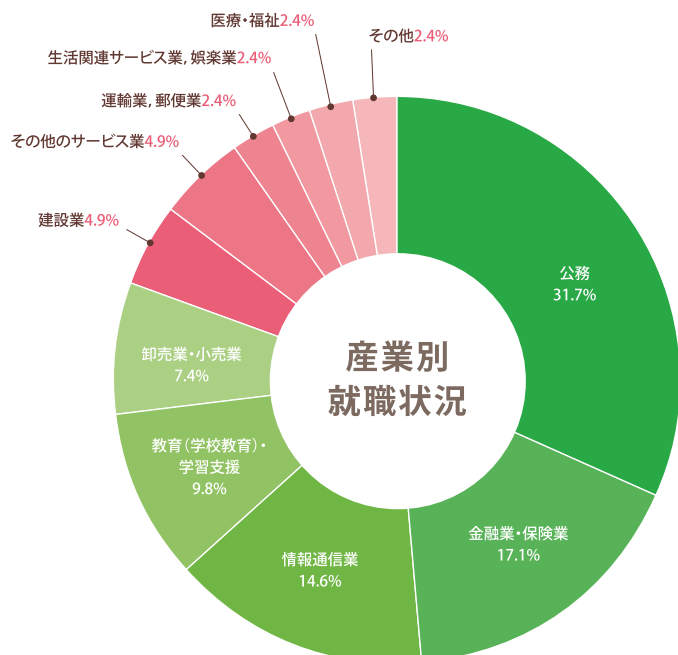
【地元企業】

山陰合同銀行、中筋組
島根労働局、島根県、出雲市、益田市、松江市、西ノ島町
島根県立学校

主な進学先(2025年度卒業生)

島根大学大学院人間社会科学部研究科、明治大学大学院、
東北大学院文学研究科、筑波大学大学院

進路データ(2026年3月卒業生)



言語文化学科

言葉は世界の扉をひらく

Department of Language and Culture

取得可能な資格

- ・高等学校教諭一種免許状(国語、英語)
- ・中学校教諭一種免許状(国語、英語)
- ・学芸員

言語文化学科
ホームページ



言語文化学科の教育の特色

言語文化学科では、2年から学生自身の希望により、以下の6研究室のいずれかを選択し、自分の興味のある事柄を中心に学んでいきます。いずれの研究室も少人数での丁寧な指導を重視しています。

日本言語文化研究室

古代から現代に至るまでの日本語と日本文学について幅広く学びます。

中国言語文化研究室

中国の言葉や文学、そして背景にある文化や思想を学びます。

英米言語文化研究室

イギリスとアメリカの言語、文学、文化の研究を通じて幅広い視野、分析力を身につけます。

ドイツ言語文化研究室

ドイツ語圏の言語、文学、文化の研究を通じて幅広い視野、分析力を身につけます。

フランス言語文化研究室

フランス語圏の言語、文学、文化の研究を通じて幅広い視野、分析力を身につけます。

哲学・芸術・文化交流研究室

哲学、芸術、文学、映画、音楽等、人間の様々な文化活動を研究し、文化理解のための技術を習得していきます。

どの研究室においても、学生はまず基礎・基本を学び、そこからさらに主体的に課題を発見し解決する力を身につけることを目指します。本学科では留学の支援も積極的におこなっており、毎年、中国・韓国・アメリカ・ドイツ・フランスの交流協定校を中心に多くの学生が留学しています。

■ 時間割

■ : 専門教育科目 ■ : 全学基礎教育科目 ■ : 教職科目

ここでは、ある2年生の前期の時間割を紹介します。

	月	火	水	木	金
1・2限 8:30~10:10			漢文学基礎演習Ⅰ	生成文法入門	
3・4限 10:25~12:05	自然と語ろう	中等国語科教育法概説	中国言語文化論講義Ⅰ	英語ⅡB	日本語表記論講義
5・6限 13:00~14:40	日本文学基礎演習Ⅰ	中国文学基礎演習Ⅰ		共通演習Ⅵ	中等国語科教育法特講Ⅰ
7・8限 14:55~16:35	中国語学基礎演習Ⅰ		英語Ⅲ	国語の 教員免許取得を 目指しています	中国語学講義Ⅰ
9・10限 16:50~18:30		クロス教育の ジオパーク学プログラムを 履修しています			
集中講義	キャリアプランニング	ジオパーク学演習	教育原論Ⅱ	教育課程論	

■ 授業科目

2026年度入学生向けに開講されている授業科目を抜粋したものです。

学科共通科目	言語文化入門 共通演習 言語文化セミナー 特別研究	日本文学概論 日本語学概論 中国言語文化概論 英米文学概論 英語学概論	ドイツ言語文化概論 フランス言語文化概論 哲学概論 芸術学概論 文化交流論概論
--------	------------------------------------	---	---

	日本語文化	中国言語文化	英米言語文化
学科専門科目	日本文学史講義	中国文学史講義	イギリス文学講義
	日本文学講義	中国文学講義	アメリカ文学講義
	日本語史講義	中国言語文化論講義	日米文化比較講義
	日本語音韻論講義	中国語学講義	英語学講義
	日本語語彙論講義	漢文学基礎演習	イギリス文学基礎演習
	日本語文法論講義	中国文学基礎演習	アメリカ文学基礎演習
	日本語方言論講義	中国語学基礎演習	英語学基礎演習
	日本古典籍基礎演習	中国文学応用演習	イギリス文学応用演習
	日本文学基礎演習	中国語学応用演習	アメリカ文学応用演習
	日本語学基礎演習		日米文化比較応用演習
	日本文学応用演習		英語学応用演習
	日本語学応用演習		英語運用演習
	現代文学入門講義		
	地域資料総合演習		
		ドイツ言語文化	フランス言語文化
	ドイツ文化論講義	フランス文化論講義	哲学講義
	日独文化比較講義	日仏文化比較講義	倫理学講義
	現代ドイツ語基礎演習	フランス語学講義	芸術学講義
	ドイツ語運用演習	現代フランス語基礎演習	文化交流論講義
	ドイツ文化応用演習	フランス語運用演習	哲学基礎演習
		フランス文化応用演習	芸術学基礎演習
			文化交流論基礎演習
			哲学応用演習
			芸術学応用演習
			文化交流論応用演習



学生による授業紹介

言語文化学科の先輩が、実際に受講している授業を紹介します。

「日本文学応用演習Ⅳ」を紹介します!



受講生各自が関心を持つ日本の近代小説を読んでいく授業です。作品の生成過程や先行研究を調べた上で自分の解釈を個人発表で示し、その後全体で討議します。近代日本の言語文化の知識はもちろん、毎回の熱い議論を通して、物事を多角的に捉える思考力や、自分の考えを論理的かつ魅力的に伝える表現力も磨けます!

井上 萌生(日本言語文化研究室3年)

「中国語学講義Ⅰ」を紹介します!



この授業では、中国語資料を統語論のほか談話分析の手法を用いて分析していき、教科書とは異なる中国語の姿を知ることができます。また中国語という言葉が現在の姿になるまでの歴史的経緯についても学んでいきます。中国からの留学生も数多く受講しているので、教室の中で国際交流もできます!

白石 恵美(中国言語文化研究室3年)

「異文化交流Ⅲ」を紹介します!



この授業では、アメリカの大学での授業やホームステイを体験します。現地で過ごすことで、たくさんの発見や学びを得られます。また、ネイティブスピーカーとの交流を通して、実践的な英語のコミュニケーション能力を身につけることができます。

遠藤 未波(英米言語文化研究室3年)
佐田 彩乃(英米言語文化研究室3年)

「芸術学講義Ⅰ」を紹介します!



この授業では、映画作家の作品の分析を通して作品論や作家論の方法を学びます。ストーリーだけではなく、技法や細部に注目して映画を観ると、作品の印象が変わってきます。映画論だけでなく、時代背景、ジェンダー論や精神分析理論からも作品の解釈をするので越境的な学びができる講義です。

林田 芽依(哲学・芸術・文化交流研究室3年)
宮岡 明莉(哲学・芸術・文化交流研究室3年)

卒業研究・卒業論文

日本語文化研究室

- ◆泉鏡花『草迷宮』論
—「聞く」ことによる現実と幻想の円環—
- ◆夏目漱石『三四郎』論—「水」の意味—
- ◆太宰治『津軽』論
—(私)の所属意識と周辺人物とのかかわり—
- ◆夏目漱石『門』論
—野中家における小六の位置づけ—
- ◆谷崎潤一郎『痴人の愛』論—「植物」の役割—
- ◆志水燕十の戯作
- ◆『建春門院北面歌合』の研究
—「水鳥近馴」から考える題詠について—
- ◆『水無瀬殿御座六首歌合』の研究
- ◆『かざしの姫君』の研究
- ◆日蓮遺文における語彙特徴
—女性宛消息と男性宛消息の使用語彙の差を中心に—
- ◆商品命名の歴史の変遷
- ◆「悪運」の意味変化について
- ◆岡山県瀬戸内市方言におけるノダ相当形式
- ◆長崎県長崎市方言における動詞の活用体系
- ◆「敷居が高い」の使用実態と意味の広がり

中国言語文化研究室

- ◆李商隱の「無題」詩は未完成であるか
—新たな無題詩の分類—
- ◆日中の「笑い」のオノマトベ比較
- ◆屈原研究—莊子との比較—

英米言語文化研究室

- ◆主語whの統語論
- ◆英語の発音指導
- ◆移動動詞の日英比較
- ◆『青い眼がほしい』の美と差別
- ◆『ピラヴド』のトラウマと語りの問題
- ◆ラフカディオ・ハーンとセツの共同創作
- ◆日系アメリカ人文学における母娘関係

ドイツ言語文化研究室

- ◆グリム童話研究
—「森」と「ガラス山」のもつ彼岸性—
- ◆日独慣用語の表現比較

フランス言語文化研究室

- ◆映像翻訳の日仏対照研究
- ◆ゲーム翻訳に現れるフランス語の特徴

哲学・芸術・文化交流研究室

- ◆母娘関係における身体観と美容整形の役割
—湊かなえ『カケラ』の分析を通じて—
- ◆少女漫画におけるジェンダー規範からの逸脱
—異性装キャラクターを中心に—
- ◆学校の怪談とネット怪談の比較分析
- ◆議員の発言傾向にジェンダー要因は存在するのか
—地方議会会議録の比較分析—
- ◆中国人留学生の留学動機と日本文化への適応
—メディア・SNSとの関連—
- ◆なぜ中年女性は宝塚にハマるのか
- ◆美術における女性表象とフェミニズム的視点
- ◆幸福に関する快樂説の擁護
- ◆ソシユール『伝説・神話研究』に関する考察
—記号学内での一般言語学理論と伝説・神話研究の統合可能性の検討—

進路・進学先

主な就職先(2025年度卒業生)

テレビセとうち株式会社、山陽新聞社、中国銀行、鳥取銀行、イズミ、ザグザグ、ニトリ、マルイ、福知山公立大学

大阪税関、井原市、三朝町、岡山県岡山市公立学校、神戸学園、鳥取県公立学校

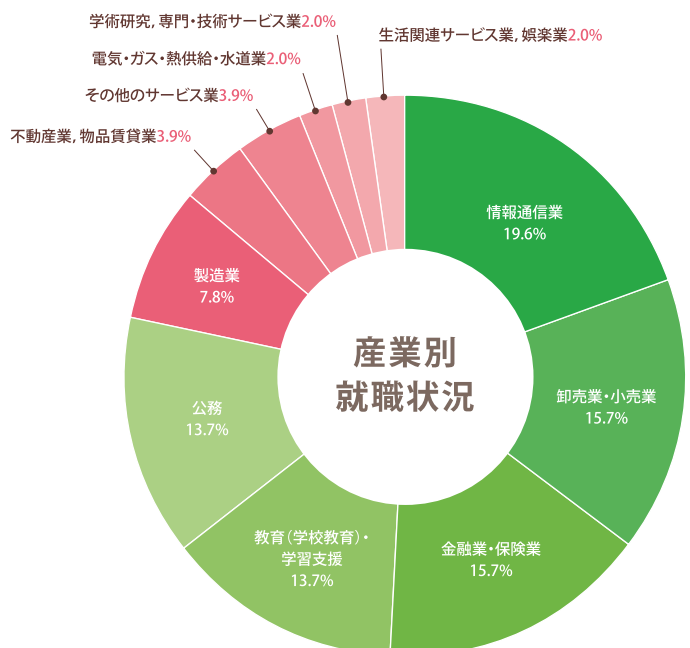
【地元企業】

山陰中央新報社、山陰合同銀行、島根銀行、出雲村田製作所、テクノプロジェクト、ヒラタ精機、ミック、島根大学、全国共済農業協同組合連合会島根県本部
島根県、益田市、松江市
島根県公立学校

主な進学先(2025年度卒業生)

島根大学大学院人間社会科学部研究科、
Brigham Young University MA in Linguistics

進路データ(2026年3月卒業生)





法文学部ホームページ

<https://www.hobun.shimane-u.ac.jp/>

入試情報に関する問い合わせ先

■入試要項等の請求先

島根大学 入試課

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

TEL 0852-32-6073 FAX 0852-32-9726

E-mail epd-nnyushi@office.shimane-u.ac.jp

■入試情報の提供

<https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/>

2026年7月

制作・発行
法文学部広報委員会

委員

小林 亜希子、大橋 エミ
清原 和之、小原 真子

表紙デザイン

陳 章仁(言語文化学科卒業生)